

大島商船高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	計測工学	
科目基礎情報							
科目番号	0101		科目区分		専門 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	商船学科		対象学年		3		
開設期	前期		週時間数		2		
教科書/教材	計測：自作プリント						
担当教員	古本 啓二						
到達目標							
(1) 温度、流量、圧力及び液位についての計測器原理および特性を理解できる。							
これらの知識を船舶運航の中で生かすことのできるレベルを目標とする。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		計測の基礎、計測機器の原理について理解し、説明できる。		計測の基礎、計測機器の原理について説明できる。		計測の基礎、計測機器の原理について理解できない。	
学科の到達目標項目との関係							
本校 (1)-c 商船 (2)-a							
教育方法等							
概要		計測工学の基礎（キーワード：計測器，変換器）について授業する。					
授業の進め方・方法		計測：自作プリントにより、講義し、定期試験の出題範囲とする。					
注意点		原理や意味を理解するように努力すること。 この科目は船員養成三級海技士（機関）の指定教科である。					
授業計画							
前期	1stQ	週	授業内容		週ごとの到達目標		
		1週	総論		計測の定義と目的を理解する		
		2週	熱電対温度計		熱電対温度計の原理と演習を理解する		
		3週	電気抵抗式温度計		電気抵抗式温度計の原理と演習を理解する		
		4週	サーミスタ温度計		サーミスタ温度計の原理と演習を理解する		
		5週	光高温計		光高温計の光高温計の原理と演習を理解する		
		6週	放射温度計		放射温度計の原理と演習を理解する		
		7週	絞り流量計		絞り流量計の原理と演習を理解する		
	2ndQ	8週	前期中間試験				
		9週	面積式流量計		面積式流量計の原理と演習を理解する		
		10週	容積式流量計		容積式流量計の原理と演習を理解する		
		11週	U字管式圧力計		U字管式圧力計の原理と演習を理解する		
		12週	ダイヤフラム圧力計		ダイヤフラム圧力計の原理と演習を理解する		
		13週	電気抵抗線式圧力計		電気抵抗線式圧力計の原理と演習を理解する		
		14週	気泡式液面計		気泡式液面計の原理と演習を理解する		
		15週	静電容量式液面計		静電容量式液面計の原理と演習を理解する		
	16週	前期期末試験					
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	20	0	10	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	70	0	0	20	0	10	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0